

会員のば

なんちゃって音楽療法？

札幌市医師会
在宅療養支援診療所くまさんクリニック

熊谷 範子

アイリッシュハーブを習い始めて3年が経ちました。ハーブとの出会いのきっかけは、在宅医療の研修でした。静明館診療所で在宅医療の専門医取得を目指して研修中、日本在宅医学会（現在の日本在宅医療連合学会）のプログラム交流会という研修会に参加した際、本州のある診療所で研修中の先生がハーブセラピーで癌末期の患者さんのスピリチュアルペインを癒やし、在宅看取りを実現した経験についてまとめたポートフォリオを発表されているのを拝聴しました。演奏技術が未熟であっても、ハーブの音色の波長自体に癒やし効果があるとのことでした。私もいつかハーブの音を聴いてみたいと思うようになりました。無事に専門医を取得させていただいた直後に、早速札幌市内のハーブ教室に無料体験に行きました。ハーブに触れるのは初めてでしたが、その音の美しさに感動し、早速ハーブ教室に通い始めることにしました。いつか自分もハーブで音楽療法をできるようになることを夢見て。

細々と練習を続け、3年がたった今もまだまだ下手くそですが、たまに診療の際にハーブを持参しています。私の下手くそなハーブを喜んでくださった患者さんとの思い出をご紹介します。

患者さんのお名前を仮に太田さんとさせていただきます。太田さんは70代の男性で、脳梗塞後遺症のため運動性失語症と重度の右片麻痺があり、老人下宿で独居生活をされていました。車椅子を自走して、雪道の中でも、一人で外出をされるお元気な方です。脳梗塞を発症する以前はクラリネットを演奏されていました。麻痺が出現してから楽器の演奏はされなくなりました。音楽の趣味は幅広く、クラシックからポップスまで幅広いジャンルのCDをお持ちでした。太田さんは人との関わりを避けるような傾向があり、訪問診療にうかがっても、当初は診療の必要性もご理解いただけず、何とかバイタルサインを測定し、胸部の聴診のみ何とかお願いしてさせていただくような状況でした。訪問しても外出

中で不在のことも何度かありました。特に女性が嫌いで、看護師が体温計を脇の下に挟めようとすると手を振り払うようにして嫌がるような状態でした。あるとき太田さんが歯の痛みを訴えられたことをきっかけに、何とかコミュニケーションをうまく取れる方法を見つけようと当院も努力をし始めました。単語やごく短い文章なら、それを見てご自分の意図するものを指さすことができることが分かりました。その後も少しずつ太田さんの思いを引き出すために、コミュニケーションに時間をかけるようになりました。太田さんも徐々に諦めずに伝えようと頑張ってくれるようになってきました。そのような中、私がハーブを習い始めて1年が経ち、なんとか簡単な曲が弾けるようになり、クリスマスに近い訪問日に小型ハーブを持って太田さんのところに行き、演奏を聴いていただこうと思いつきました。どのような反応が返ってくるかドキドキしていたのですが、思いのほか喜んでくださり、意外にも、何度も何度もリクエストしてくださいました。同じ曲を5回くらいリクエストされることも珍しくありませんでした。ときには指揮をしながら演奏にお付き合いくださり、ときどき私が弾き違えると、笑いながらずっこけたりもしてくださいました。人前で演奏することに慣れていない私はとても緊張していましたが、太田さんが嬉しそうに指揮をしてくださる様子を見ると、不思議と緊張が和らぎました。診察のたびにハーブを持参して演奏を聴いていただいているうちに、当初は体温計を挟めることも嫌がっていた太田さんが、ハーブの演奏のタイミングになると、同行した看護師にも自分の隣に座りなさい、とベッドに座るよう促してくれるようになりました。私にとっても太田さんのところに訪問することが大きな楽しみとなっていました。入居中の老人下宿が閉鎖されることになり、遠方に転居されることが決まり、残念ながら当院は終診となりました。太田さんとの出会いは、私がハーブの練習を続ける上で今でも大きな励みになっています。肝心のハーブの腕前はまだまだ当時と比べてもあまり上達していませんが、これからもぼちぼちと練習を続けて、たくさんの方々に喜んでいただけるようになりたいと願っています。

幼少期の入院経験から 現在の仕事につながる

上川北部医師会
名寄市立総合病院

岩田 千広

医師になって4年目に入り、仕事に対して少しずつですが自信もついてきました。この場をお借りして初心に戻るといふ意味も込めて、医師を志したきっかけの一つを書きます。

私は4歳のときに川崎病で入院したことがあります。初めは溶連菌感染症が疑われ、地元の診療所に入院しました。しかし、抗菌薬の効果がなく、別の病気かもしれないと考えた診療所の先生が精査加療のために旭川厚生病院へ転院させてくれました。転院の際に初めて救急車にりましたが、患者の私はストレッチャーに横になり、バンドで固定されていたため救急車の中では天井しか見えず、とてもつまらなかった記憶があります。

旭川厚生病院に到着して、髄膜炎の除外のために腰椎穿刺をされました。何人かの医師や看護師に急に押さえつけられて、びっくりしました。自分で言うのもおかしいですが、私は4歳児にしてはいい子で我慢ができる方でしたので、説明もなく急に押さえつけられて腰に痛い針を刺されたことの方が恐怖を感じました。検査結果が出る前に主治医の先生が私の症状から川崎病が疑われるとして、転院初日から免疫グロブリンなどの治療を開始してくれました。数週間の入院中に私は苺舌などの川崎病の主要臨床症状6項目をすべてコンプリートしました。治療が無事終わり、元気になった私はお世話になった主治医の先生に似顔絵をプレゼントして退院しました。

診療所の先生がすぐに紹介、転院させてくださり、旭川厚生病院の先生が早期に治療を開始してくださったおかげで、私は心臓血管後遺症などを合併することなく経過しています。医師を志したきっかけはこれだけではありませんが、中でもこの川崎病のエピソードは私にとってとても影響の大きい出来事でした。また、医師国家試験では川崎病の問題が得点源の一つで、こんなところでもこの経験が活かしました。

現在、私は麻酔科専攻医として働いています。硬膜外麻酔などで患者の背中や腰に今度は私が針を刺す立場になりました。子供に麻酔をすることもあります。どんなに年齢を重ねた患者でも、多くの方は緊張して手術室に入ってきます。子供は怖くて母親と離れたくないと泣く子がほとんどです。そんな方々に処置や麻酔をする上で患者の協力を得るためにも、声かけは重要です。無事に手術が終了するように、手術後は少しでも痛みや苦痛がないように心がけて、多くの方のためにこれからも仕事をしていきたいです。

飛行機に私の座席がない

札幌市医師会
新札幌パウロ病院

高階 俊光

今年の夏の終わりに富山県の「越中八尾おわら風の盆」のお祭りに行ってきました。その帰りの日本を代表する航空会社での出来事です。

小松空港から乗り継いで東京に一旦降りてから新千歳空港に向かう羽田空港で搭乗を待っていました。アナウンスで、妊娠中の方、子連れの方、ゴールドカードなどの優先搭乗から始まり…そして「座席番号30番目以降の方…」と案内されて、座席番号33番目K席の私は改札機でチケットをかざし、出てきた控え券を持っていつもどおり機内へ入りました。入り口に置かれている籠の中の飴をいつものように取りました。

前方ではAからKまでの席が並んでいて、K席は窓側と認識しました。ところが33番目に来たところ、その列の席はAからG席は存在していたのですが、何度も確認してもH、I、J、Kの席が存在しないのです。G席の横にトイレがありました。その間H、I、Jの席を座る人は現れませんでした。仕方なしに33番目のGの席に座ってCAさんが通ってくるのを待っていました。まだ頭の中はK席がないはずはないと思っています。…そしてようやく事情が飲み込めました。私のK席はなんとトイレだったのです。大半のCAさんは入り口にいて乗客の対応と誘導に当たっています。しばらくしてやってきたCAさんに事情をお話ししてチケットをお見せしますと、彼女もいぶかしげにちょっと頭をかき、その席がないことを確認しました。私は「K席はトイレですか」と笑いを浮かべながら彼女に聞きました。彼女もニコニコ顔で対応に当たっています。さらに私は「トイレの便座のK席でもいいですよ」と言うと、CAさんはどこまでも笑顔で「いつも空いているとは限りませんので」との対応でした。心の中でくうまい(対応)、座布団2枚>と叫んでいました。「控え券、ありますか」と聞かれて、サイフから取り出した改札機での控え券を確認して、それを持って彼女は善後策のために前方に消えていきました。しばらくして戻ってきて渡された控え券に「23-K」と手書きで書かれていました。そして彼女に案内され、無事窓側の席に座ることができ、帰路につきました。

切手などの収集癖のある私にとって、おわら風の盆の会場の郵便局で購入したおわら盆の地方切手のシートとそのチケットの控え券は蒐集の一品となりました。

その後の航空会社内での責任問題はどうなったのでしょうか？美しいCAさんの顔が鬼のようになってクレームを付けたのでしょうか？

旅の疲れが一瞬吹き飛んだ珍しい出来事でした。私が「スチュワーデス」と連呼すると、女房が「今はね、CA(キャビン・アテンダント)と言うんだよ」と丁寧に教えてくれました。

JAL「TODOFUKEN SEAL」 の謎

函館市医師会
函館渡辺病院

水関 清

日本航空国内線に搭乗すると、客室乗務員にゆかりのある都道府県を意匠化したシールをもらえるキャンペーンが、2017年10月3日から2019年3月31日までの間のロングラン企画として行われた。『お客さまとの繋がりをこれまで以上に大切にしたい』という客室乗務員の想いを形にするため、都道府県のシールをお渡しして、お客さまとのコミュニケーションのきっかけを作ります」というコンセプトのもとで、乗務員も、自身で最も親しみを感じる都道府県の形をデザインした、「縁（ゆかり）都道府県バッジ」を着用し、シール集めの際には、どこのシールを持っているかがひと目でわかるような工夫がされていた。シールの形は55mm×45mmで、22mm×18mmの郵便切手よりふた回りほど大きい。

シールの意匠として採用されているのは、景勝地あり、名所旧跡ありと多彩だが、そのどこかに必ず飛行機の飛び立つ姿が描き込まれているのが、JAL「TODOFUKEN SEAL」の面目躍如たるところである。

表に、都道府県名とシールの意匠、そして、飛行機の機首の向きの一覧を示す。北海道の小樽運河から、沖縄の竹富島まで、名所・旧跡・景勝地・風物・動物などが網羅されている。なかでも、千葉の江川海岸には意表をつかれた。木更津市江川にあるこの海岸は、遠景に君津共同火力発電所の灯りをのぞみ、前景に立ち並ぶ電柱が満潮時の水面に映り込むさまが、ポリビアの「ウユニ塩湖」のようだ、とのことで人気が出たスポットである。海に向かって電線が続き、それを支える電柱がずらっと一本のラインとなっている不思議な光景は、もともとはアサリの密漁監視台への電力供給のためだったという。

この海岸は、羽田空港への着陸ルートに近く、飛行機が旋回して木更津上空にかかり、真下に小櫃川、右前方に東京湾アクアラインの橋梁群が見えてくると、容易に確認できる。千葉県のシールの意匠として採用されたのには、こんな立地条件も関連しているのだろうか。

お一人の客室乗務員からは、1枚のシールしかもらえない。大型機には9名の乗務員が勤務しているが、飛行機の大きさによって4人、さらには2人や1人のこともある。47都道府県のシールを集めて、事務局に送ると、コンプリートシールなるものが送り返されてくる。2017年12月から配布が開始され、4ヵ月ごとに桜、七夕飾り、紅葉、雪という、日本

列島の四季を描いたものである。すべてをもらおうとすると、188枚のシールが必要となり、1回の搭乗で平均3枚のシールをもらおうと仮定すると、1年半のシール配布期間に最低でも70回程度の搭乗が必要ということになる。

実際に集めてみると、「縁（ゆかり）の地」に指定されることの多いのは、東京、神奈川、大阪、福岡などの大都市部であり、少ないのは、石川、鳥取、徳島、香川、高知、大分などの人口が少なめの県であった。JALグループのHACの客室乗務員さんに、香川と高知のバッジをつけた方がお一人ずついらっしやっただけに、筆者はこの2県の収集は容易であった。

表を眺めていて、どうしても解けない謎は、都道府県と飛行機の機首の向きである。機首が左上を向いているのは、24道府県あり、北海道、甲信・東海・近畿、中国四国の大部分、そして九州の大部分である。右上を向いているのは23県あって、東北・関東、北陸、中国地方の日本海側、四国の一部、九州の一部である。空港への離着陸経路を図示したものかとも考えたが、そもそもこれらの中には、栃木、群馬、埼玉、山梨、福井、岐阜、三重、奈良という、定期就航路線を持たないところも含まれている。その一方で、複数の空港を持つところもある。

解けない謎を考えつつ、機窓に展開する「生（なま）」の地形図の妙に時を忘れる。機上ならではの無上の愉しみなのである。

都道府県シールの概要

都道府県名	シールの意匠となった名勝など	飛行機の機首の向き	都道府県名	シールの意匠となった名勝など	飛行機の機首の向き
北海道	小樽運河	↖	滋賀	彦根城	↖
青森	尻屋崎寒立馬	↗	京都	渡月橋	↖
岩手	中尊寺金色堂	↗	大阪	通天閣新世界	↖
宮城	松島	↗	兵庫	明石海峡大橋	↖
秋田	真山神社	↗	奈良	奈良公園の鹿	↖
山形	銀山温泉	↗	和歌山	熊野那智大社	↖
福島	大内宿	↗	鳥取	鳥取砂丘	↗
茨城	袋田の滝	↗	島根	出雲大社	↗
栃木	日光東照宮	↗	岡山	岡山後楽園	↖
群馬	草津温泉	↗	広島	尾道しまなみ海道	↗
埼玉	川越	↗	山口	秋芳洞	↖
千葉	江川海岸	↗	徳島	大鳴門橋うず潮	↖
東京	東京スカイツリー	↗	香川	小豆島オリーブ公園	↗
神奈川	江ノ島	↗	愛媛	松山城	↖
新潟	八海山ロープウェー	↗	高知	桂浜	↖
富山	立山黒部アルペンルート	↗	福岡	糸島	↖
石川	千里浜なぎさドライブウェイ	↗	佐賀	吉野ヶ里歴史公園	↖
福井	東尋坊	↗	長崎	旧野首協会	↗
山梨	忍野八海	↖	熊本	阿蘇大観峰	↖
長野	善光寺	↖	大分	九重“夢”大吊橋	↖
岐阜	白川郷	↖	宮崎	高千穂峡	↖
静岡	茶畑	↖	鹿児島	桜島	↖
愛知	大須観音通り	↖	沖縄	竹富島	↗
三重	伊勢神宮	↖			

花とクスリ

札幌市医師会
宮の森病院

村上嶽四郎

美しい花は見る者を感動させ、眺めるだけで良薬の効がある。一方、花の中には目を楽しませ癒しを与えてくれるだけでなく、その花植物の持つ成分が薬効を持ちクスリとして役立っているものもある。面白い例をいくつか示してみよう。

<クロッカス>

春の到来を告げる薄紫のクロッカスは大地の息吹を感じさせ、その可憐さは人を魅了する(図1)。香辛料の「サフラン」は秋咲きクロッカスのメシベの柱頭を乾燥して作る。別名「赤い金」とも呼ばれる。香辛料調味料の他に健胃、婦人の通経、鎮痛剤としても使われている。本場スペイン料理ではパエリアやブイヤベースには欠かすことのできない香辛料として用いられているのは広く知られている。煮え切った鍋にサフランの一掴みを振りかけると輝くばかりの黄金色に染まる。クロッカスの花一輪からわずか3本しか摘めないメシベである。グラム単位で宝石なみの扱いとなる。砂漠や荒野でブドウもオリーブも育たない土地に天が与えた恵みの花「赤い金」と言われる所以である。スペイン産サフランの大部分はわが国が輸入しているという。そして驚くべきことに、その大部分は食用としてではなく薬用として婦人科薬となっているのだ。

<タンポポ>

原っぱや土手に点々と黄色に咲くタンポポは、フキノトウと共に雪国では雪解けを知らせてくれる風物詩の一つでもある(図2)。タンポポは純粋な和名であるがその由来については異説もある。花の咲き終わった姿が太鼓を連想させ、その音のタンポンポンから来た(柳田邦男)。中国名ポポチン(婆婆丁)の丁と婆婆の順序が入れ替わってチンポポとなった(与謝野寛)。このタンポポをヨーロッパでは食用に栽培しているが食べるのは花でなく葉の方である。花が咲き終ってからは葉が固くなって売り物にならず“花が咲いたら売れないタンポポ”となっている。フランス語ではタンポポの事を葉のギザギザした姿から連想してライオンの歯「ダンデリオン」と呼ばれている。これが英語になると「ダンディライオン」となっている。鋭い歯よりも円を描いて並ぶ黄色い花卉の様がダンディに気取るライオンの襟巻状のタテ髪により強い連想を巡らせたのでしょう。タンポポの葉は煎じて利尿剤として用いられている。そのため、フランス語の別名「ピッサンリ」(寝小便・おねしょ)があり、こちらの方が一

般的に使用されている。それにしても、洋の東西で「チンポポ」と「おねしょ」との呼ばれ方には笑ってしまう。れっきとしたフランス料理店でメニューにタンポポのサラダが「おねしょのサラダ」(Salade de pissenlit)と実際に載っているのもお笑いだ。

<ジギタリス(キツネノテブクロ)>

二つの名前を持つこの植物は、薬用植物として重点のある時はジギタリス、草植物としてはキツネノテブクロと呼ぶ(図3)。名前の由来は、ジギタリスは手指(ラテン語でdigitus)に似ている。別名のキツネノテブクロ(foxglove)は狐の手(袋)からの連想から付けた名前であろう。ただ、キツネと名前が付いた植物、キツネの絵筆、キツネの剃刀などでは形が連想を呼ぶだけでなく悪臭を放ったり、有毒であるなどの警告も込められている。この植物の姿形は立葵に似ていて背が高く、花は茎の頂きから鈴なりにぶら下がる赤紫色の鐘状花である。1785年イギリスのウィザリングによってジギタリスは強心利尿剤として紹介された。以来世界中で広くうっ血性心不全の治療に用いられてきた。現在では有効成分が抽出され他の品種も含めて強心配糖体として循環器領域の治療には必須のクスリである。ジギタリス療法は心不全に著効を示すものの中毒の恐れも有り鋭い諸刃の剣を扱う技が必要となる。この負の作用の警告が名前にfoxgloveとキツネの付いた所以であろう。

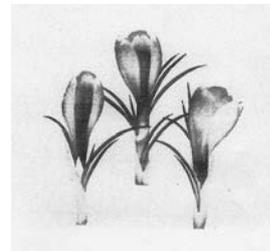


図1 クロッカス



図2 タンポポ



図3 ジギタリス

内科医と自転車競技

富良野医師会
北海道社会事業協会富良野病院

前田慶太郎

ツール・ド・フランスを頂点とする自転車ロードレース、日本ではあまり知られていないこのスポーツと医師との関係について書いていきたい。

西ヨーロッパではサッカーに次ぐ人気を誇るこのスポーツも、日本では名前は聞いたことあるけれど、どんなスポーツか知らないという人が多い。多くの人は自転車で言うマラソンのようなものだと考えているのではないだろうか。どんなスポーツかという点、チーム（ツール・ド・フランスでは1チーム8人）が一丸となり、チームの中の一人の選手を勝たせるために、残りの選手が自分の能力に応じてさまざまなサポートを行う。自分のチームだけではなく、ライバルチームの選手とも利害が一致すれば協力して作戦を組み立てていく非常に複雑なスポーツだ。異なる性質を持つチーム員が一丸となって一人の選手を勝たせる、そしてライバルチームとも協力するという点においては、日本の将棋に似ているかもしれない。異なる性質の駒を的確に使い王を守り、また敵の駒も使える、そんな将棋の性質が私には自転車ロードレースにとっても似ているように思える。なぜこのようなことが起きるのか。平地でも時速80kmを超えることもある自転車は常に大きな空気抵抗を受けることになり、その空気抵抗のマネジメントが重要になってくる。先頭に出て空気抵抗をまともに受ければ大きく体力を消耗するが、そうならないようにチームメート、そして他のチームの選手と空気抵抗をうまく分散し、ときには果敢に空気抵抗を受けながら作戦を組み立てていく。将棋にいろいろな性質の駒があるように、自転車選手にも平地に強い選手、上りに強い選手、一瞬の瞬発力が強い選手などさまざまな選手がおり、こうした異なる性質を持つ選手達をうまく使って、チームのエースと言われる一人の選手を勝たせるために働く。エース自体もコースの性質やレースの性質で異なる選手が選ばれ、またレース展開によっては途中でエースが交代することもある。非常に複雑な作戦のやり取りが勝敗を分けるのでこのスポーツは面白い。

私はこの自転車ロードレースというスポーツと25年以上関わってきた。将来医師を目指すとは想像もしていなかった18歳のとき、私は日本の実業団チームと契約し、ヨーロッパで選手として活動していた。選手を辞めたあとも当時の経験を活かし、日本で行われる自転車の国際レースでフランス語やイタリア語の通訳として働いてきた。かなり遠回りをして医

師になったので医学部に入った時点で30歳だった。医学生の際は国際レースの医療スタッフの通訳として、医師になってからは医療スタッフとして働かせてもらっている。

私がヨーロッパで修業をしていたときの指導者であり、現在ヨーロッパでプロチームの監督をしている私の恩師（日本人）が1990年代後半に「日本ではこっち（ヨーロッパ）では当たり前前の科学的なマネジメントがほとんど普及していない。スポーツ医も日本ではほとんどが整形外科医で内科的な管理をお願いできる人が少ないので、チームの管理は結局こっちのドクターにお願いしている」と嘆いておられたのが印象に残っている。通常欧米ではスポーツ選手の医療サポートとして、ベースとなる内科的な管理を行う内科医以外に、整形外科医、精神科医、歯科医、理学療法士等がチームを組むことが多い。とくに自転車競技ではその性質上、内科医や精神科医の役割が大きい。大きな持久力と心肺機能が必要な自転車競技では、循環器や呼吸器の管理も重要であり、また標高2,000mを越えるアルプスやピレネーの峠を越えるために体の軽量化が必要で、食事やトレーニングメニューの管理も重要だ。ドーピング規約に触れない範囲でパフォーマンスを向上させる薬剤を投与することもある。また過酷な選手生活において抱えるストレスも大きく、精神的な管理もときに重要になる。しかし日本ではスポーツ医といえば圧倒的に整形外科医が多く、他科の医師は少ない。

恩師のこの言葉が印象に残り、私は内科に進んだ。自転車競技は日本でも比較的早く科学的なマネジメントを導入した競技だが、現在では他の競技でも科学的なマネジメントが浸透してきており、トップアスリートにとっては既に当たり前のものになっている。こうした中、スポーツに興味のある医師が内科や精神科に進むケースも増えてきている。それでも自分の周りを見てみると、スポーツが好きで整形外科に進みました、という人が今でも多い。整形外科はスポーツにとって非常に重要な科であり、故障や怪我の多い競技においては中心的な役割を果たすことは確かだが、必要とされるのは整形外科だけではない。自転車競技など競技によっては他の科が重要になることもある。スポーツに興味があり今後の進路を迷っている若い先生方には内科や精神科等、整形外科以外の選択肢も考えてもらえればと思っている。

『あの日 僕は』 絵本作家の仲間入り？

岩見沢市医師会
北海道中央労災病院

飯塚 幹也

2011年3月11日、美唄脊損センターで診察中でした。揺れを感じ、震源地は道内のどこだろう？と思いながら、患者さんには「揺れましたね」と話し、診察を終えました。その後、階段で病棟に向かいました。病棟のテレビから刻々と被害状況が飛び込んできます。震源地は東北であり、規模はマグニチュード9。我々が今まで経験したことのないような地震、津波、火災、原発事故など甚大な被害を日本列島に与えた災害でした。テレビを観ていて、何もできないことは分かっているのですが、心のなかに得体の知れない不安が生まれ、落ち着くことができず「脊損センターの空き病床に被災者を収容できませんか？」など非現実的なことを当時の院長・安田慶秀先生にご提案などしていました。「何かしなくては、何かしなくては！」と病院全体が騒ついており、上空を飛ぶ支援機から見えるよう、また、被災地に応援が届くことを願い、5月には病院職員有志によりセンター屋上に巨大な応援メッセージボードを設置したり、募金を集めたりしました。

震災から半年後の9月、集めた募金を携えて、機動力を考えてバイクの鉄馬TDM900を相棒に選び、「がんばろう日本」のステッカーを貼り、自力対応ができるように荷物をまとめて出発しました。苫小牧からフェリーで八戸へ上陸。最も被害の大きかった南三陸町の志津川病院に進路を取り南下を開始。9月の台風と重なり雨の中の走行でした。目に映るものは、まさに人生観が変わるほどの大きな衝撃を受けるものばかりであり、非日常が眼前に広がっていました。巨大な船や小舟が打ち上げられ道路を遮断し、信号が消えゴーストタウンのような商店街。どの道も地盤沈下で悪路となり、瓦礫と動かなくなった車の山が道の両側に壁を作り続けました。走行中には人の気配も感じず、無音の雨の中を走り続けました。ヘルメットの外から、生き残った一本松、SOSを屋上に掲げていた病院、大火災のために黒い塊になった車、橋に挟まって動けなくなった船、最後まで津波警報と避難放送をして骨組みだけになった庁舎などが入り込んできます。今立っているこの場所で多くの人が亡くなったと思うと胸が締め付けられました。

鉄馬にまたがり志津川病院の前に到着、病院前の簡易スタンドで給油してもらいながら当時の状況をスタッフが話してくれました。「病院前に山積みになってる瓦礫、この瓦礫は全部病院の中にあつたも

のです」「4階まで完全に水没しました」。しばらく病院の姿を見て自分が沈黙していると「地盤沈下が激しいので道が冠水しますよ。バイクだと厳しいので早く抜けた方がいいですよ」と言われ、その場を離れました。当時、志津川病院は登米市米山町に仮施設として設置されておりました。最終目的地向かいます。仮施設のスタッフの方に当院からの募金、メッセージなどを渡しミッションを終え、しばらく雲の流れを追っていましたが、「行くかと！」と相棒に声をかけて北上を開始しました。帰路は台風を追われる形であり、太平洋側のフェリーが軒並み欠航となり、北上を続け青森からフェリーで函館に上陸し帰還しました。しかし函館からの走行の記憶がなくて、どうやって戻ったのか？ 今流行りの自動運転でしょうか？

2019年夏、YAMAHAから『はしれ絵本！』というプロジェクト企画のお知らせがあり、自分のバイクに関する物語を選考し40名の物語を40冊の絵本とし、東京で展示会を開催するというものでした。酔った勢いで申し込み、採用の知らせを受け、ネットでインタビューしていただき、絵本となりました。絵本は切り絵で綺麗に作っていただき、当時のことが鮮明に再現されていました。絵本の内容は、皆様からお預かりした気持ちを相棒であるバイクに乗り、荒れた震災後の道を進み、目的の場所に贈り物と届け、その後、これからの人生を乗り越えていこうと相棒のバイクと会話をしている内容です。昨今の日本列島、まさに台風、地震など災害が毎年のように起きています。2011年から職場の名札にはあの時の気持ちを忘れ無いうように『がんばろう日本』の缶バッジをつけております。些細なことで感情が動かされないように心がけています。がんばろう日本！ 見せよう日本の力！

